

第 31 回群馬県救急医療懇談会 プログラム

【第 1 会場（臨床大講堂）】

8:50 ～ 9:00 開会式

開会の辞 当番世話人

群馬大学大学院医学系研究科 救急医学 大嶋 清宏

9:00 ～ 9:40 一般演題 1 【ER / 救急外来】

座長：群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 荒巻 裕斗

- | | | | |
|-----|---------------------------------------|------------------------|-------|
| 1-1 | 脳梗塞急性期再開通療法における治療開始までの時間に与える要因の検討 | 老年病研究所附属病院 看護部 | 白木 里子 |
| 1-2 | 当院における急性期脳梗塞に対する血栓回収術のプロトコール導入と短期成績報告 | 医療法人社団美心会 黒沢病院 脳卒中センター | 木村 辰規 |
| 1-3 | 当院へ搬送され入院を要した急性薬物中毒患者の統計分析 | 国立病院機構 高崎総合医療センター 救急科 | 村田 将人 |
| 1-4 | 当院へ搬送された電撃傷の検討 | 前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 | 富岡 仁 |
| 1-5 | ECMOトランスポートに必要なとなるマネジメント | 前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 | 金畑 圭太 |

9:50 ～ 10:20 一般演題 2 【働き方】

座長：群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 市川 優美

- | | | | |
|-----|------------------------------|-------------------------------|--------|
| 2-1 | 複数県における救急隊員・消防隊員の職業ストレス | 上武大学大学院経営管理研究所 スポーツ健康マネジメント学科 | 柳田 力王翼 |
| 2-2 | 群馬大学医学部附属病院救急科医師の男性育休の妻からの評価 | 群馬大学医学部附属病院 救命救急センター | 荒巻 裕斗 |
| 2-3 | 群馬大学医学部附属病院救急科医師の働き方 | 群馬大学医学部附属病院 救命救急センター | 澤田 悠輔 |

10:30 ～ 12:00 シンポジウム 1（救急看護認定看護師）

座長：群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 川村 麻記

「救急医療の働き方、新時代！」

- | | | | |
|------|------------------------|-------------------|-------|
| S1-1 | 救急初療看護実践における特定行為の活用と課題 | 国立病院機構 高崎総合医療センター | 塩尻 洋大 |
|------|------------------------|-------------------|-------|

S1-2	予定外受診患者に対する初期対応システム導入に向けて	群馬大学医学部附属病院 救命救急センター	遠藤 麻衣
S1-3	救急外来におけるICT活用による診療記録効率化の取り組み	前橋赤十字病院 高度救命救急センター 救急外来	城田 智之
S1-4	増加していく救急需要に対する救急隊員の働き方について	前橋市消防局 救急課 救急救命係	吉田 裕
S1-5	救急科医師の働き方—わが家の場合	群馬大学医学部附属病院 救命救急センター	福島 一憲

13:20 ~ 14:20 特別講演

	座長：群馬大学大学院医学系研究科 救急医学	大嶋 清宏
	「働くってなんだろう」病院作りを通して見えてきた「働く」ということ	
	医療法人社団敬寿会 前橋城南病院	上間 貴子

14:30 ~ 16:00 シンポジウム 2（病院救急救命士）

座長：群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 澤田 悠輔

「病院救命士の働き方、新時代!」

S2-1	群馬県西毛地域の救命救急センター・災害拠点病院における病院救急救命士の活動の現状と課題	国立病院機構 高崎総合医療センター 救急科	星野 唯
S2-2	当院救急外来における病院救命士の働き方	SUBARU 健康保険組合 太田記念病院	横倉 圭一
S2-3	群馬大学医学部附属病院における病院救急救命士の役割と働き方	群馬大学医学部附属病院 医事課医療支援係	市川 久則
S2-4	前橋赤十字病院における事務職救急救命士の働き方 — 働き方改革に向けた新時代の挑戦 —	前橋赤十字病院 地域のためのメディカルシュミュレーション支援室	川田 広明
S2-5	消防と院内救急救命士の繋がりと今後の展望	高崎市等広域消防局	田中 博之
S2-6	当院における病院救命士の活動について	群馬大学医学部附属病院 救命救急センター	一色 雄太

16:10 ~ 16:50 一般演題 3【教育・訓練】

	座長：群馬大学大学院医学系研究科 救急医学	大嶋 清宏
3-1	A病院救命救急センターにおける災害アクションカードを活用した避難訓練の実施報告	
	群馬大学医学部附属病院 救命救急センター	江島 未来
3-2	看護職員を対象とした部署ごとに研修可能な動画視聴後の分散研修による BLS 研修導入の取り組み	
	老年病研究所附属病院	田中 智大

- 3-3 PEMEC現在の普及状況と今後の戦略 ― 消防からのアンケートをもとに ―
前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 中村 光伸
- 3-4 医学生を対象としたPSLSコースの開催経験
群馬大学大学院医学系研究科 救急医学 澤田 悠輔
- 3-5 自院に救急搬送された脳梗塞症例の事後検証による、実施基準改訂後の事後検証再開に向けた取り組み
老年病研究所附属病院 脳神経外科 谷崎 義生

16:50 ～ 閉会式

閉会の辞 当番世話人

群馬大学大学院医学系研究科 救急医学 大嶋 清宏

【第2会場（臨床中講堂）】

9:00～9:30 一般演題4【症例（救急救命士）】

座長：群馬大学医学部附属病院 救命救急センター		福島 一憲
4-1	歩いてきた傷病者へ陰性感情が湧いたが、結果くも膜下出血であった一例 前橋市消防局	松本 湧豊
4-2	ショックを伴う、胸背部痛の原因疾患がくも膜下出血だった1例 渋川広域消防本部	平形 峻斗
4-3	交通救助出動事案に関する通信指令業務における検討について 伊勢崎市消防本部	倉金 寛政

9:40～10:30 一般演題5【救急システム／連携活動】

座長：群馬大学医学部附属病院 救命救急センター		一色 雄太
5-1	林業現場における救急対応力向上を目的とした地域消防との連携訓練の実施報告 高崎市等広域消防局	小針 涼
5-2	前橋市における蘇生活動の現状 前橋市消防局	山田 靖
5-3	母体心肺停止傷病者における胸骨圧迫時の妊娠子宮の用手的左方移動について 伊勢崎市消防本部	中野 篤
5-4	高齢者施設における救急搬送円滑化に向けた情報伝達の取り組みと課題 伊勢崎市消防本部	石田 祐樹
5-5	逼迫する救急出動における現状と課題について 伊勢崎市消防本部	今泉 大翔
5-6	救急自動通報システム(D-Call Net)の概要および活用報告と実症例から得られた課題について 前橋赤十字病院 集中治療科・救急科	加藤 雅也

10:40～11:40 一般演題6【症例（医師）】

座長：利根中央病院 総合診療科		森 瑞樹
6-1	ニルマトレルビル／リトナビルと常用薬の相互作用による重度の血圧低下が疑われた一例 SUBARU健康保険組合 太田記念病院 救急科	矢内 天翔
6-2	徐脈および頻脈性不整脈の両者により心原性失神を呈し院内急変コードが2度発動された一例 前橋赤十字病院 心臓血管内科	遠藤 健太
6-3	病院前救護との連携により心肺停止後の小児患者を救命した症例 公立館林厚生病院	曾我 太三
6-4	当院におけるエチレングリコール中毒の治療経験と解毒剤ホメピゾール導入の重要性 前橋赤十字病院 集中治療科・救急科	上田 哲平

第 31 回群馬県救急医療懇談会 プログラム

- | | | | |
|-----|--|----------------------|-------|
| 6-5 | 搬送後に宗教的輸血拒否が判明した外傷性腸管損傷に対し倫理コンサルテーションを行い、相対的無輸血により救命した一例 | 前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 | 塩谷 駿人 |
| 6-6 | ショックを伴わなかったⅢb型肝損傷の一例 | 群馬大学医学部附属病院 救命救急センター | 市川 優美 |
| 6-7 | 劇症型溶連菌感染症に対して早期デブリードマンを施行し、救命し得た一例 | 群馬大学医学部附属病院 救命救急センター | 川原 康平 |

12:30 ~ 12:50 評議員会

14:30 ~ 15:10 一般演題 7【看護ケア①】

- | | | | |
|-----|--|----------------------|--------|
| | | 座長：群馬大学医学部附属病院 北病棟2階 | 宮澤 佳緒里 |
| 7-1 | 疼痛管理を必要とする腸間膜損傷後小腸穿孔を発症した症例の看護介入の振り返りと課題 | SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 | 須賀 出 |
| 7-2 | 電子カルテでのNEWSスコアを利用したRRT介入の効果 | 公立館林厚生病院 | 長谷川 千陽 |
| 7-3 | 外国籍患児の医療通訳を担うきょうだいへの支援の在り方 | SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 | 長沼 佳奈 |
| 7-4 | 当院集中治療室におけるICP管理プロトコルの取り組み | 前橋赤十字病院 | 片貝 萌 |

15:20 ~ 16:00 一般演題 8【看護ケア②】

- | | | | |
|-----|---------------------------------------|-------------------------|--------|
| | | 座長：群馬大学医学部附属病院 救命救急センター | 戸叶 敦夫 |
| 8-1 | 救急車同乗実習を通じた救急外来看護師の働き方の検討 | 公立藤岡総合病院 救急センター | 金井 優 |
| 8-2 | A病院ERにおける脳神経疾患患者のNIHSS評価に対する看護師の認識 | SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 | 葛西 洋介 |
| 8-3 | 夜間勤務帯における多数傷病者受け入れを経験して | 利根中央病院 | 横山 聡子 |
| 8-4 | ACSホットラインとドクターカーが連携した事例 ～看護実践から見えたこと～ | 国立病院機構 高崎総合医療センター | 竹淵 敬純 |
| 8-5 | ウォークイン患者に対する認識の変容と課題 | 桐生厚生総合病院 | 津久井 直衣 |